

平成14年8月23日

関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第3号を送付します。

平成14年度病虫害発生予察注意報第3号

平成14年8月23日

高知県病虫害防除所

病虫害名 ハスモンヨトウ

1. 対象作物 露地野菜、ダイズ、施設野菜、花き類、飼料作物など
2. 発生地域 県内全域
3. 発生時期 8月中旬以降
4. 発生程度 多
5. 注意報発令の根拠
 - 1) フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は平年並からやや多めで推移していたが、梅雨明け後、一般的に急増し、特に県東部及び中央部では平年の数倍の誘殺数となっている(図1)。
 - 2) 南国市甘枝のサトイモほ場におけるハスモンヨトウ産卵数調査(県農業技術センター昆虫科調べ)では7月5半旬に急増し、一端減少したものの、再度増加し、8月14日～20日の卵塊数は9.3個(1日/50株当たり)と平年の3倍になっている(図2)。
 - 3) 県下のサトイモほ場での巡回調査(8月19,20日)でも、すでに例年の9月上中旬の密度となっている(表1)。
 - 4) 向こう一ヶ月の気象予報では気温は平年並、降水量は平年並から少なめで、幼虫の死亡要因は少ないと考えられる。
6. 防除対策
 - 1) 老齢幼虫になると薬剤感受性が低下するので、若齢幼虫期に薬剤散布を行う。1回の薬剤散布で効果が十分でない時は5～7日間隔で数回散布する。
 - 2) 薬剤防除は県病虫害防除指針に従い、また、同一薬剤の連用は避ける。
 - 3) 施設栽培ではハウスサイド、天窓に防虫ネット被覆を行うなど成虫の侵入防止に努める。

表1 各地区のサトイモほ場におけるハスモンヨトウ卵塊調査結果(50株当たり)

調査地点	調査日	2002年	2001年	2000年	1999年
		8/19～20	9/4～17	9/4～8	9/6～9
安芸市 川北		19	12	8	7
安芸市 井ノ口		5	7	5	6
芸西村 和食		11		4	4
土佐市 新居		6	45	3	1
伊野町 枝川		13	7	5	4
須崎市 上分		3	29	10	14
葉山村 三間川		2	5	23	7
中土佐町 久礼		6	13	25	5
中土佐町 上ノ加江		3	7	24	19
東津野村 船戸		3	0	1	0
中村市 竹島		11	3	5	3
中村市 古津賀		11	12	4	1
平均		7.8	12.7	9.8	5.9

注)調査地点における調査ほ場が複数の場合、各調査ほ場ごとに、50株当たりの卵塊数は算出し、その平均を取った。

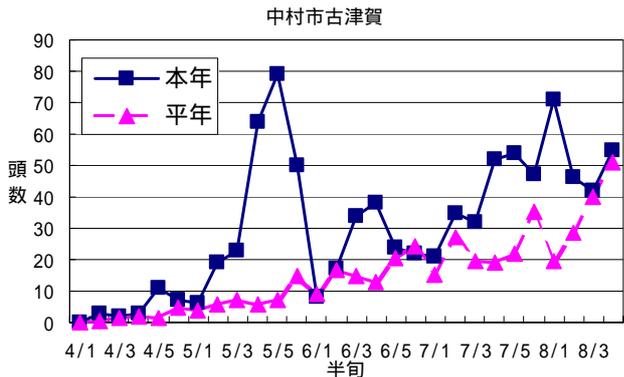
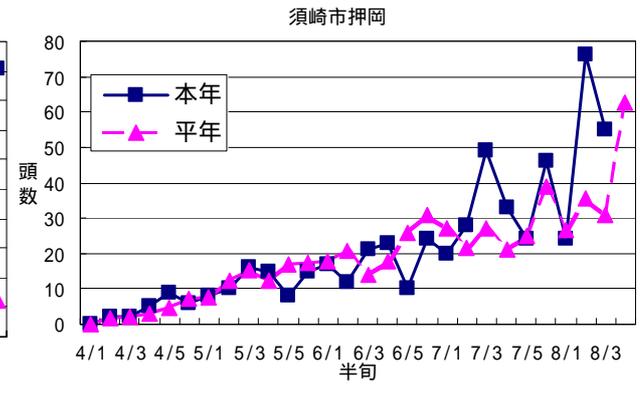
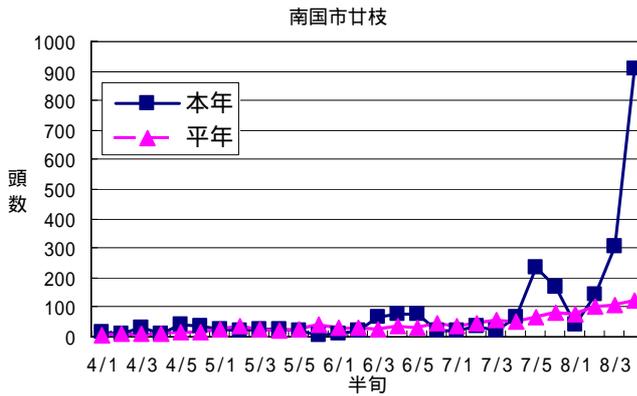
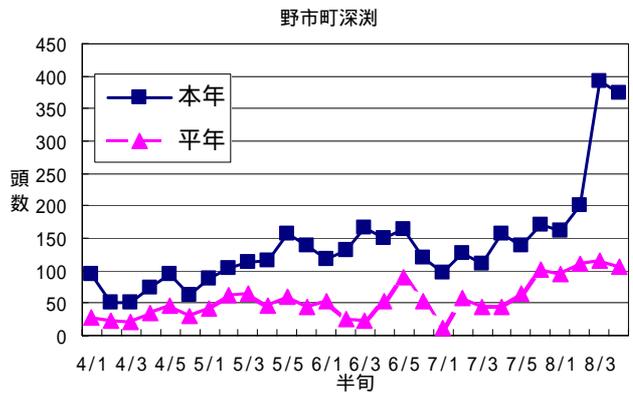
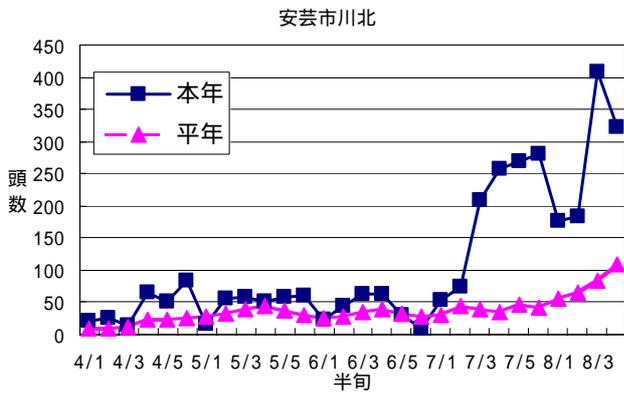


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫捕殺数の推移

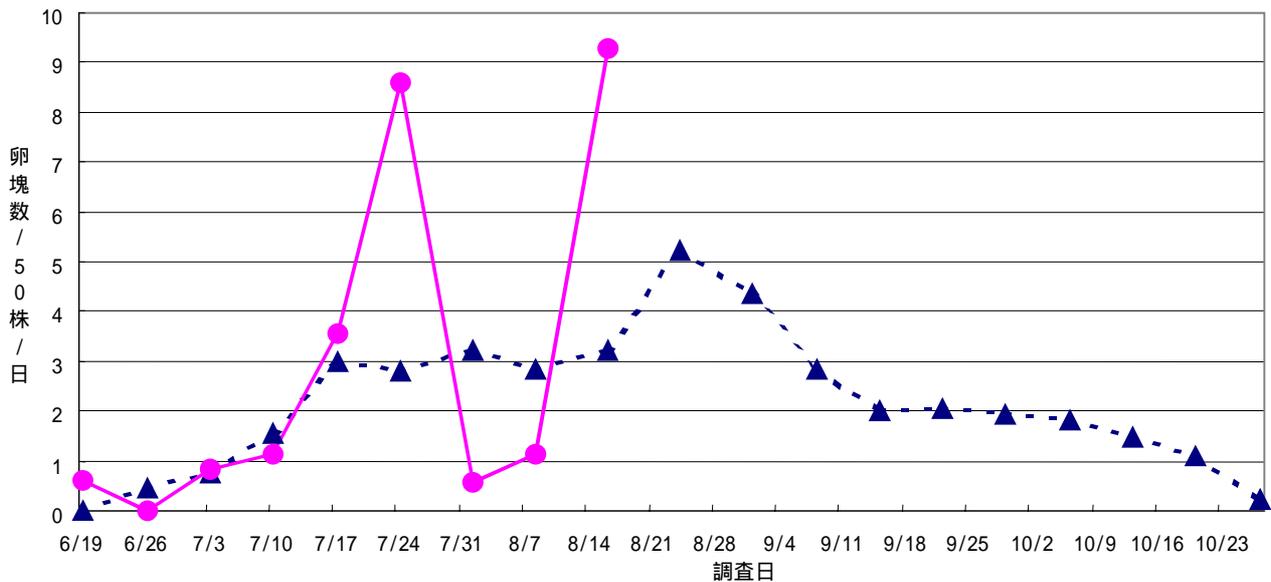


図2 サトイモ圃場におけるハスモンヨトウ卵塊数の推移(農業技術センター)

—▲— 平年値 ●— 2002